

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、19～24.5℃台を示し、やや低い～平年並の水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり8トンの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり1トンの水揚げで、前週の2.5倍（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり13トンの水揚げで、前週の1.6倍（前年を上回った）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり16トンの水揚げで、前週の2.7倍（前年を上回った）。
- イカ釣――ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり42kgの水揚げで、前週の1.6倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり約1.6トンの水揚げ（前年を上回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり0.4kgの水揚げで、前週の20%（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり268kgの水揚げ。北松生月地区では、マアジなどが1日1統当たり4トンの水揚げ。対馬西岸地区では、アジなどが1日1統当たり90kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり110kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり194kgの水揚げ（前年を上回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり16kgの水揚げで、前週の64%（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（11/1～11/2日の2日間）沖合イカ釣り船、船凍船は日本海（礼文島・武蔵堆周辺海区・奥尻島）へ出漁した。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島～新潟沖～山形沖～秋田沖～青森沖～北海道西沖（武蔵堆周辺海区）にかけて出漁した。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第30-39号 長崎県周辺海域の海面水温（11月号）」をホームページに掲載しました。

ホームページアドレス <http://www.marinelabo.nagasaki.nagasaki.jp/>